

### §3 全微分と合成関数の微分法 演習問題3

📎 問題の難易度の目安【基礎】☆☆☆ 【標準】★★☆ 【発展】★★★

**1** (☆☆☆)(chain rule ①)  $a, b$  を定数として, 2変数関数  $f(x, y)$  と  $x = au + bv, y = -bu + av$  の合成関数  $z = f(au + bv, -bu + av)$  を考える.

(1)  $z_u, z_v$  を  $z_x, z_y$  で表せ.

(2)  $z_u^2 + z_v^2$  を  $z_x, z_y$  で表せ.

**2** (☆☆☆)(chain rule ②) 極座標表示  $x = r \cos \theta, y = r \sin \theta$  を考える.

(1)  $x, y$  について偏微分可能な2変数関数  $z = z(x, y)$  が  $xz_x + yz_y = 0$  を満たすならば,  $z$  は角度  $\theta$  のみの関数であることを示せ.

(2)  $x, y$  について偏微分可能な2変数関数  $z = z(x, y)$  が  $xz_y - yz_x = 0$  を満たすならば,  $z$  は動径  $r$  のみの関数であることを示せ.

**3** (★★☆)(chain rule ③: 左辺からの変形)  $x, y$  について偏微分可能な2変数関数  $f(x, y)$  に対して, 極座標変換  $x = r \cos \theta, y = r \sin \theta$  との合成関数  $z = f(r \cos \theta, r \sin \theta)$  を考える. このとき以下を示せ:

(1)  $r_x = \cos \theta, r_y = \sin \theta, \theta_x = -\frac{1}{r} \sin \theta, \theta_y = \frac{1}{r} \cos \theta.$

(2)  $(z_x)^2 + (z_y)^2 = (z_r)^2 + \frac{1}{r^2}(z_\theta)^2.$  (左辺から変形して右辺を導け.)

**4** (☆☆☆)(chain rule ④: 右辺からの変形)  $x, y$  について偏微分可能な2変数関数  $f(x, y)$  に対して, 極座標変換  $x = r \cos \theta, y = r \sin \theta$  との合成関数  $z = f(r \cos \theta, r \sin \theta)$  を考える. このとき以下を示せ:

(1)  $x_r = \cos \theta, x_y = \sin \theta, x_\theta = -r \sin \theta, y_\theta = r \cos \theta.$

(2)  $(z_x)^2 + (z_y)^2 = (z_r)^2 + \frac{1}{r^2}(z_\theta)^2.$  (右辺から変形して左辺を導け.)

**5** (★★☆)(chain rule ⑤)  $f(x, y)$  は  $C^2$  級として,  $z = f(x, y), x = e^u \cos v, y = e^u \sin v$  とする. このとき,

$$z_{xx} + z_{yy} = e^{-2u}(z_{uu} + z_{vv})$$

が成り立つことを示せ.